



矢渕中学校
竹原 巧 校長

Takehara Takumi

矢渕中学校は、昭和47年の建設以来、校舎の廊下や壁など、さまざまな部分で老朽化が進んでいましたが、今回の改修により、明るくきれいで、温もりのある校舎に生まれ変わりました。

また、校舎が明るくきれいになっただけでなく、生徒たちの声が工事に反映され、生徒たちが使いやすく、勉強がしやすい環境が整いました。

今後は、これまで以上に安心して学ぶことができる環境で、生徒たちがより一層飛躍することを期待しています。



矢渕中学校 3年生
池内 涼太 さん

Ikeuchi Ryota

工事が始まったときから校舎がどのようになるのか期待して待っていたので、改修が終わり、きれいになった校舎を見ると本当にうれしいです。今後は、僕たちも気持ちを新たに勉強、クラブ活動に励んでいきたいと思います。



01. 大規模改修工事が完了した矢渕中学校の外観。02. LED照明が取り付けられ明るくなった廊下。03. LED照明が取り付けられ、壁や床が張り替えられた体育館。04. 床や壁、ロッカーなどが新調された普通教室。05. 新しく追加された駐輪場。06. テープカットで新校舎の完成を祝う関係者。07. 明るくきれいになった柔剣道場。08. 階段には椅子型階段昇降機が取り付けられる。09. 木材が使用され、温もりが感じられる生徒用玄関。

DATA

- 位置：紀宝町鶴殿 20 番地
- 延床面積：管理教室棟 3,405㎡
技術室棟 207㎡
屋内運動場 1,123㎡
柔剣道場 571㎡
- 総事業費：353,850千円
(建築費：331,353千円)

設するなど、防災対策の強化も行われており、生徒たちが安心して学べる環境が整えられました。

今後は、これまで以上に保護者や地域に開かれた学校、安心して学ぶことができる学校として発展することが期待されています。

また、窓ガラスを強化ガラスに取り替え、3階・4階の計4か所に垂直式救助袋を新

大規模改修工事が完了した同校は、校舎の内外壁の改修や屋上の防水対策、内部の照明器具のLED化などが行われたほか、生徒用玄関には木材を多く使用し、明るく温もりのある校舎になりました。

矢渕中学校は、昭和47年に建設され、約50年の月日が経ち、校舎の老朽化が進んだことから、子どもたちの安全・安心を最優先に考え、昨年の2月から大規模改修工事が行われました。

大規模改修工事が完了した同校は、校舎の内外壁の改修や屋上の防水対策、内部の照明器具のLED化などが行われたほか、生徒用玄関には木材を多く使用し、明るく温もりのある校舎になりました。

矢渕中学校大規模改修工事が完了し、その竣工が1月11日、同校の体育館で開かれました。式には、全校生徒235人のほか、西田町長や向井町議会議員などが出席し、完成を祝いました。

生徒たちが安心して学べる環境を
矢渕中学校 大規模改修工事 完了!!